

●計画の柱1 生涯現役社会・健康寿命の延伸					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
重点施策 フレイル予防					担当課	継続	1	総合事業など要介護・要支援認定を受けなくても使えるサービスを充実させ、市民の選択肢を増やす。
指標 要介護・要支援申請時の年齢					地域包括ケア推進課			
基準値	79.7歳（令和元年度）							
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度の実績値については、目標を上回る結果となった。社会参加や介護予防等の事業に加え、フレイル予防事業として通いの場や住民にとって身近な場所でのフレイル予防の普及啓発や、フレイルハイリスク者に対する個別訪問等をコロナ禍の状況に配慮しつつ実施した。更なる要介護・要支援申請時の年齢引き上げに向けて、今後も事業を継続し健康寿命の延伸を目指す。				
目標値	79.8歳	79.9歳	80.0歳					
実績値	80.2歳							
施策1 生涯現役社会の実現に向けた多様な就労・社会参加支援の促進					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
指標① シルバー人材センター就業実人数					担当課	その他	2	3
基準値	1,751人（令和元年度）							
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	登録会員数は対前年度比で62人増加（R2：2,028人、R3：2,090人）しているが、就業実人数は13人減少（R2：1,678人、R3：1,665人）しており目標値は未達である。雇用延長等が浸透しつつある社会情勢の中、会員の入会時年齢や平均年齢が上昇しており、会員ニーズと就業のマッチングや会員の高齢化に見合った業務や新しい就業形態の業務受注を進めることが必要となっている。				
目標値	1,850人	1,937人	2,012人					
実績値	1,665人							
指標② 介護支援ボランティア登録箇所数					担当課	継続	3	
基準値	100箇所（令和元年度）							
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度の実績値は令和2年度の実績値と変化がなく、目標値を下回る形となった。新型コロナウイルス拡大の影響により、市内福祉施設等がボランティアを受け入れることに躊躇し、登録箇所数が増えていないと考えられる。今後、オンライン等コロナ禍でも活動できる手法の導入を検討し、施設数の増や活動率の向上につなげたい。				
目標値	106箇所	114箇所	122箇所					
実績値	101箇所							
施策2 健康寿命の延伸に向けたフレイル予防の推進					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
指標① 事業対象者の維持・改善率					担当課	継続	4	
基準値	55.2%人（令和元年度）							
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	事業対象者の維持・改善率は目標値を上回っており、介護予防・生活支援サービス事業の利用が自立支援・重度化防止につながっていると見える。一方で、事業対象者数は年々減少していることから、令和3年12月に広報まつど特集号にて基本チェックリストを掲載し、事業の周知を図った。今後も機能低下が懸念される高齢者を早期に把握し、適切なサービス利用につなげることで、自立支援・重度化防止を推進していく。				
目標値	56%	57%	58%					
実績値	58%							
指標② 社会参加得点					担当課	拡充	5	65~68
基準値	75.1点（令和元年度）							
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	現時点での社会参加得点は判明していないものの、市内の通いの場へ行ったアンケートから、高齢者の社会参加が減少した傾向が見受けられる。新型コロナウイルス感染防止のため、政府やメディアからの呼びかけもあり、社会参加活動を自粛した高齢者が多いことが要因と考えられる。今後、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みつつ、広報誌での呼びかけやイベントの実施により社会参加を促す取り組みを行う。				
目標値	-	-	81.0点					
実績値	-							

●計画の柱2 多世代型地域包括ケアシステムの推進					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
重点施策 地域包括ケアシステムの深化・推進					担当課	その他	6	5, 11, 116, 131, 132
指標 多分野に関わる課題を抱えた相談件数					地域包括ケア推進課			
基準値	300件（令和元年度）							
実績	計画期間				実績に対する評価			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度から開始した重層的支援体制整備事業に伴い、地域包括支援センターでも「属性を問わない相談（断らない相談）」（包括的相談支援）を実施してきたことから、多分野に渡る相談については目標値を超える件数に対応している。今後も地域包括支援センターにおいては、多分野に渡る課題を発見した際には、速やかに相談対応が可能な関係機関、または福祉まるごと相談窓口との連携を通じて課題解決にあたって取り組みを行う。				
目標値	400件	500件	600件					
実績値	498件							
施策1 地域共生社会に向けた参加と協働の推進による社会的支援の体制強化					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
指標① 各種協力事業者数					担当課	継続	7	
基準値	68箇所（令和元年度）				地域包括ケア推進課			
実績	計画期間				実績に対する評価			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	地域共創社会の実現に向けた連携に関する協定は継続している。高齢者の介護予防に資する活動や独自で高齢者を応援するサービス、地域活動団体向けコンテンツ、活動場所を提供している「元気応援キャンペーン」の協賛団体は49団体で増減なしであった。高齢者等見守り協定については、全体では27事業者との協定を締結しており、令和3年度新規で協定を結んだ事業者は1者であった。現時点において年間目標値を達成しているが、いずれの事業においてもコロナ禍による影響を受けていると分析しており、引き続き注視し推進するものとする。				
目標値	77箇所	82箇所	87箇所					
実績値	77箇所							
指標② 虐待通報先の認知度					担当課	継続	8	
基準値	15%（令和2年度）				地域包括ケア推進課			
実績	計画期間				実績に対する評価			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	市としては、SNSの活用やパートナー講座の積極的な開催、広報まつど特集号の発行、市民の関心が高い傾向にある認知症関連施策との連携等を実施し、地域包括支援センターにおいても市民向け講演会の開催や認知症サポーター養成講座内で虐待防止について説明を行うなど、積極的な周知を図った。目標値の達成に向けて、今後も通報先の認知度向上に向けて取り組みを実施していく。				
目標値	-	-	30%					
実績値	-							
施策2 認知症施策の総合的な推進					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
指標① まつど認知症予防プロジェクト新規参加者数					担当課	継続	9	
基準値	146人（令和元年度）				地域包括ケア推進課			
実績	計画期間				実績に対する評価			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	コロナ禍において訪問しての調査が難しいことや、地域包括支援センター以外の協力機関の実施件数の伸び悩みから目標値に達しない可能性がある。様式や事業に係る手続きの簡略化など、実施しやすい方法を検討していく。				
目標値	201人	222人	243人					
実績値	164人							
指標② 認知症相談窓口の認知度（若年者）					担当課	継続	10	
基準値	19.9%（令和2年度）				地域包括ケア推進課			
実績	計画期間				実績に対する評価			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	認知症ガイドブック（ケアパス）について、認知症や物忘れについての相談先や受診ができる市内医療機関等を掲載した「相談窓口マップ版」を新たに作成し、支所や関係機関、各種事業にて配架、配付した。また、市役所連絡通路でのパネル展示等の際にも啓発グッズを配付するなど、積極的に周知を行った。目標値の達成に向けて、今後も認知症の相談窓口の認知度向上に向けた取り組みを実施していく。				
目標値	-	-	24.9%					
実績値	-							

施策3 地域包括支援センターの機能強化					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
<b>指標① 地域の予防活動等社会資源の新規立ち上げ支援団体数</b>					担当課	その他	11	69, 74~76、105
基準値	34件（令和元年度）			地域包括ケア推進課				
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度から大幅に支援団体数が減少し、目標値に大きく届かなかった。新型コロナウイルス感染症の流行下において、社会資源の新規立ち上げだけでなく既存の社会資源の多くが休止に追い込まれている状況がある。一方で、オンライン交流会の立ち上げなど新しい生活様式を踏まえた取組が進んだ点は評価できる。				
目標値	40件	45件	50件					
実績値	16件							
<b>指標② 包括事業評価の平均点</b>					担当課	継続	12	
基準値	3.62点（令和元年度）			地域包括ケア推進課				
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値はわずかに届かなかった。一方、新型コロナウイルス感染症の流行下において、評価対象である人が集まるイベント等が実施できない状況のなか、15地域包括支援センターの平均点が前年度と同じであったことは一定の評価ができると考える。				
目標値	3.63点	3.64点	3.65点					
実績値	3.62点							
<b>●計画の柱3 介護サービスの適正な供給</b>					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
重点施策 多様な主体の確保					担当課	その他	13	
<b>指標 施設等の整備に必要な介護従事者数</b>					介護保険課			
基準値	70人（令和2年度）			令和3年度整備分の地域密着型サービス事業者の公募を行ったが、（看護）小規模多機能型居宅介護および定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、応募が募集数を満たさなかったため目標に届かなかった。				
実績	計画期間							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
目標値	128人	106人	150人					
実績値	58人							
<b>施策1 在宅介護サービスの充実と在宅医療・介護連携の推進</b>					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番
<b>指標①（看護）小規模多機能サービスの定員総数</b>					担当課	継続	14	
基準値	508人（令和元年度）			介護保険課				
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度整備分の地域密着型サービス事業者の公募を行ったが、（看護）小規模多機能型居宅介護について、応募が募集数を満たさなかったため目標に届かなかった。				
目標値	595人	682人	740人					
実績値	532人							
<b>指標② 在宅医療を支援する医療機関数</b>					担当課	継続	15	
基準値	43箇所（令和2年度）			地域包括ケア推進課				
実績	計画期間			実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値にわずかに届かなかった。在宅医療の新規参入支援等を目的として、松戸市在宅医療・介護連携支援センターが診連携（診療所間連携）による24時間対応体制構築の調整・支援、医師の在宅診療を補助する訪問看護師の配置調整、在宅医療に関する診療報酬や介護報酬に関する各種届出や請求事務の支援等を行った。令和3年度は7医療機関等に延べ18回の支援を行っており、引き続き新規参入等への支援を行っていく。				
目標値	45箇所	47箇所	49箇所					
実績値	44箇所							

施策2 地域の実情に合わせた住まいの確保と施設整備					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番	
<b>指標① 特養新規入所者数</b>					<b>担当課</b>		16	/	
基準値	412人（令和元年度）				介護保険課				
実績	計画期間			実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年4月に定員が40床増となったこともあり、基準値を上回り目標も達成した。					
目標値	450人	470人	485人						
実績値	454人								
R5に予定していた特養80床の整備が辞退となったことから、次期計画において帯給バランスや人材確保を踏まえ、引き続き目標を設定する。					継続				
施策3 介護人材の確保・定着及び資質向上に向けた取り組みの推進					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項番	
<b>指標① 介護人材育成事業利用者数</b>					<b>担当課</b>		17	/	
基準値	36人（令和元年度）				介護保険課				
実績	計画期間			実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値を達成した。引き続き介護人材育成事業を通じて、未経験者の参入の促進を図る。					
目標値	47人	52人	57人						
実績値	51人								
R5に事業者等アンケート調査にて、ケア倶楽部の掲載、広報やブッシュ通知メール等様々な媒体を通じ本事業の周知を図り、認知度を向上させる。					継続				
<b>指標② 「介護助手」採用事業者数</b>					<b>担当課</b>		18	/	
基準値	70箇所（令和2年度）				介護保険課				
実績	計画期間			実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	介護助手に限らず広くWEB上でのマッチングを強化する情報提供基盤の構築を行い、広報まつど「介護の日」介護保険特集号にて周知を行った。引き続き周知を行っていく。					
目標値	—	—	100箇所						
実績値	—								
R5に事業者等アンケート調査にて、需要を確認。前回の計画策定時のアンケートでは、47%が介護助手を採用したいとは思わないと回答があったところ。『在宅医療・介護事業所検索システム』に介護施設の求人・介護助手・ボランティア募集等の情報を事業者へ周知していく。					継続				